



We serve

IWATA LIONS CLUB REPORT

[2022.7~2023.6]



軽トラ市（サンタパレード）

モットー

WE SERVE(われわれは奉仕する)

3 3 4 複合地区スローガン

「^{かん}感じて臨む 変革の能動者たらん」

3 3 4 - C 地区スローガン

「足元を固め 原点回帰 “We Serve”」

磐田ライオンズクラブ

スローガン

「地域と共に、地域に目を向け、地域から発信する奉仕活動へ」

努力目標

「地域的话题で、魅力あるアクティビティを、全員参加で楽しもう」

2023 3

会長挨拶

まずもって、磐田ライオンズクラブCN 65周年の会長エレクトとして 3月下旬の第1回準備理事会の開催から心配だらけの始まりでした。開催するも各委員会の事業計画の検討、活動できるのか、集まれるのかです。と言いますのは、足元での1月度、2月度とコロナ渦中です。例会すら中止の状況に追い込まれていました。4月、5月、6月と準備理事会の議事録に、そこらの事の進捗がままならない状況が反映されています。他方で何を目的にこの1年運営するのか活発な試案、提案を広く求めたのです。会長エレクトの思い通りにやればとのアドバイスを受けたものの、辛抱強く求める形式が良かったようです。当クラブ65年の長い歴史がギッシリ詰まったこれまでのCN記念事業の一つ一つに光を当てています。今一度現メンバーが、目を向ける機会にしていこうとの提案でした。現メンバーが全く知らないこともありそこを利用してアクティビティを計画したらどうか。各委員会からのプログラムには、いろいろな思いが集約されていました。この意見集約を機に各委員会からの提案の具体化をお願いし10月末には意見の調整、選択、行程、管理計画、予算化と具体化してもらえまして、目を開かせてくださったのは、ライオンズ活動そのものがSDGsと通じていること。奉仕活動は、理念で繋がるとの意識共有にたどり着きました。素晴らしいです。11月には例会にてご紹介をし、承認いただく段階になりました。CN 65周年記念事業は、クラブの歴史を振り返る意味から、入会したての若いメンバーにもいい機会になります。桜の咲くライオンズパークを核にして各種の活動を取り上げていきます。むしろ活動はこれからです。準備・募集・市民参加と織りなす中で味付け広報活動にも結びつきます。メンバーの工夫は、会員拡大の重点テーマにも資するはずで、まさに想定外の活動に全員で取り組むことになりましたことは望外の喜びです。CN 65周年のアクティビティはこれからです。宜しくお願いします。



会 長
L.江間 清



幹 事
L.村松由季子

今年度の磐田LCに江間会長の求めたものは、①磐田シニアLCから少年野球大会をスムーズに引き継ぐ事。②年若い会員や会員歴の浅い会員を役職に抜擢し、経験を積んでもらう事。③トップダウンではなく会員の中から「こんな事をやりたい!」という積極性が欲しい。SDGsという大枠だけを設定するので、これは!と思うものを挙げて欲しい。皆の中から適当なものが見つければCN事業としてやるが、出てこなければ、SDGsについて学ぶ講演をして貰うというものだった。

「CN 65はやりません!」という会長の爆弾発言で、当初例会が紛糾することもしばしばだったが、磐田市近隣でSDGsに積極的に取り組んでいる企業で講演をお願いできそうな方を探しつつ、委員会から意見が出てくるのをじっと待った。

8月の理事会に環境福祉委員会から、各委員会が磐田LCとして何をすべきかを考えてプレゼンテーションする例会が提案された。最初は?であったり、そんな事言われたってねえ...というのが本音であったと思う。10月の例会に向けて、委員会での話し合いが磐田に必要な事をもう一度考え直すきっかけとなり、興味深い意見が出された。何となくこれまで通りとか言われるままに活動をするだけでなく、何が求められているのかを考えて事業を計画し、地域の人々や他団体とも協力しつつ無理なく楽しく活動していく事が“持続可能”な奉仕へと繋がると思う。今年度磐田LCは、会員の意識変革というver. upがなされた事が最も大きな収穫だったのではないかと思います。

アクティビティ・例会より

献血99inアピタ



9月3日(土)、献血活動を行いました。同時に、献血登録のコーナーを設け、呼びかけを行いました。

献血は69名、献血登録は15名のご協力をいただきました。

担当: 献眼献腎献血委員会

国際平和ポスターコンクール 10月6日(木)



今年も多く的小・中学生に参加いただきました。本年度は展示の仕方にひと工夫し、設営労力を大幅に引き下げながら見栄え良く展示できるようになりました。また、近年安定した作品数を集めているせいか、全体作品のレベルが底上げされてきた感じがします。本年度は小学生が最優秀賞を飾ることになりました。次年度以降更に広く周知をし、国際協会行の作品が常に輩出される環境を醸成していければと思います。

担当: 青少年YCEクエスト委員会



静岡産業大学での献血活動

10月17日(月) 静岡産業大学構内にて献血活動を行いました。41名とやや少なめでしたが、待ち時間の学生との意見交換は、これからの活動へ繋がるものになりそうです。

担当：献眼献腎献血委員会

秋のライオンズパーク草刈り



8月初旬に第1回の草刈りがコロナの影響で中止となった為に、9月24日(土)(台風15号の翌日)会長と委員会メンバー数人で、4分の1位の面積を草刈りました。

第2回の草刈り11月12日(土)は、メンバー及び中部電力・あかつき証券の皆様達の協力もあり総勢約40名で、草刈・花壇の植替え・木質チップの埋設を行いました。草がかなり成長しており、刈り取った草の量は約170袋にも及ぶ量となりました。

やはり草刈は、定期的に行わないと大変な事になると思いました。後2回草刈が残っているので、メンバーの皆様ご協力をお願いします。

担当：環境福祉委員会

フードドライブ 10月9日(日)

9月5日から28日にかけて食料品等寄付の募集を行いました。集まった食料品は、総数212個と例年同等となりました。今年度は、ガバナーが袋井ライオンズクラブ出身との事で、フードバンクふじのくにの方を招いて贈呈式が行われました。また、ZCが磐田出身なので3地区で集まった食料品を3名(ZC L.鈴木和男・L.斉藤 伸・L.村松正規)で静岡市にあるフードバンクふじのくにへ運びました。とても良い事業だと思いますので、継続的になればと個人的には思います。



担当：環境福祉委員会

中部小学校「マッピーフェスタ」での献眼活動



11月26日(土)午前中、地域力を求める中部小学校の文化祭的催し物に参加し、献眼登録を呼びかけました。大画面TVを借り、タッキー主演の献眼啓発DVD「ひかり」をエンドレスで上映し、親たちへの献眼啓発を目標にしました。子供たちには、ヨーヨーや風船を配り、サンタクロースやツリーに扮したメンバーがLCをアピールしました。登録は3名でしたが、これから繋がるものと信じています。

担当：献眼献腎献血委員会

軽トラ市 12月11日(日)



サンタパレード

コロナ禍によりここ近年、開催を見合わせておりましたが、今回ようやく開催する事が出来ました。

感染者数と社会情勢を見ながら、恐る恐るの開催となりましたが、磐田南高校吹奏楽部のご協力もあり、参加者も多く集まりました。

暗いニュースが多い中、鮮やかなサンタクロースの衣装で揃え、少しでも地元の街に明るさと活気を届けられたのではないかと思います。

担当：MC委員会



盲導犬への募金活動

12月11日(日)いわた駅前軽トラ市にて、“みんなでサンタクロースになろう”のLCブースの一角で、盲導犬協会による盲導犬デモンストレーションを行いました。多くの方が集まり、募金箱に並んで入れて下さるほどでした。寄付金は3月の例会で贈呈します。

担当：献眼献腎献血委員会



12月第二例会(研修会) 12月15日(木)

コロナ禍で8月に予定していた家族会は延期に、又、12月のクリスマス研修会は会食を止めて、例会として行いました。30分間という限られた時間でしたが、3人組バンド“トリロジー”によるミニクリスマスコンサートを開催し、心揺さぶる歌と演奏を楽しんでいただきました。会員の皆様に少しでもクリスマス気分を味わっていただけるよう、委員会メンバーはサンタクロースの帽子を被って参加し、帰りにはお弁当とクリスマスケーキをお渡ししました。皆様から、「トリロジーさんのファンになりました」「素敵な歌声でした」等のお言葉をいただき、とても嬉しく思いました。ありがとうございました。

担当:大会計画委員会

糖尿病予防活動



①さわやか大池散歩

「楽しく体を動かすことでエネルギーを消費し、筋肉量を保とう」という考えから、毎日曜日夕方に、1周1.3kmの大池の散歩を呼びかけました。参加者は数人ですが、家族やペットの

参加もあり、季節の移ろいを楽しみながら歩きました。継続は力なり。暖かくなったらまた呼びかけます。(7月31日から、15回実施)



②ジュピロマラソン参加

大池散歩の目標を「ジュピロマラソンに出場出来る程度の体力」におき、実際3名のメンバーがエントリーし、完走。(L小岸 薫ハーフ・L小林秀樹3キロ・L伊藤慎弥3キロ)当日の応援は、3か所でLC横幕を掲げる等して、走者にも市民にも“元氣”をアピールしました。(11月20日(日))



③11月第2例会(担当)

11月14日が「世界糖尿病デー」ですので、シンボルのブルーサークルをイメージし、皆さんにブルーの何かを身につけて出席していただきました。糖尿病には1型と2型があること、糖尿病へのスティグマ(差別や偏見)を無くすこと等、勉強しました。

担当: 献眼献腎献血委員会



レオクラブ設立検討プロジェクト

実質5年目を迎える本プロジェクトは、今年度は例年より前倒して5月から始めました。入講式には18名の新入会員を迎え、昨年度までは単年度の活動なために、毎度ゼロから始めていたものが、前倒したことで前年度生と輻輳して活動できる期間があり、活動に継続性が生まれました。まだまだ3歩進んで2歩下がるを繰り返していますが、高校生達で組織自主運営ができるまでにもう少しのところまで来ていると感じています。

L.村松正浩

ヘアドネーション



7月から12月末までに10名の髪を「つな髪」等に送りました。お礼として、オリジナルの感謝状とキーホルダーを差しあげています。2019年11月に開始以来、当クラブだけで、なんと通算98件となっています。

担当: 献眼献腎献血委員会

MC委員長
L. 斉藤 伸

編集後記

今年度もコロナ禍の中スタートしました。ただ、少しづつですが、元に戻る方向に進んでいると感じます。クラブの活動も自粛で取りやめたり、例会でも食事の提供を控えたり等の対応をして参りましたが、それもだんだんと戻っていくことでしょう。下半期も3月5日に100人以上の参加者を募ったCN65記念事業「お花見ウォークラリー in うさぎ山」や磐田で行われる69回地区年次大会等、大きなアクティビティが盛りだくさんです。We Serveの精神で、みんなで盛り上げて行けたらいいな、と思います。